

論文審査の結果の要旨

報 告 番 号	甲 第 1250 号	氏 名	櫻 井 精 斉
論 文 審 査 担 当 者	主 査 野 見 山 哲 生 教授 副 査 駒 津 光 久 教授・桑 原 宏 一 郎 教授		
(論文審査の結果の要旨)			
<p>メタボリックシンドローム (MetS) は歯周病との間に強い関連があり、MetS と歯周炎を含む調査と公共政策は公衆衛生を促進するために重要である。特定健康診断 (集団健康診断) が義務付けられているが、費用等の問題のため歯科健診は含まれていない。そのため、歯周病を効果的に診断する簡便で低コストの方法が必要である。この研究の目的は、唾液スクリーニング検査による歯周病の診断精度を検討することである。</p> <p>本研究は 2017 年から 2018 年にかけて、長野県安曇野市と塩尻市で特定健診を受診した個人を対象に、歯科検診、唾液検査を実施した。歯科検診は 5 人の歯科医師による診査が実施された。歯周病の評価には、世界保健機関 (WHO) の地域歯周歯数 (CPI) の基準を用い、コード 1 と 2 を歯肉炎、コード 3 と 4 を歯周炎 (コード 1-4 を歯周病) と判断した。また、2017 年には問診票により、自己申告と実際の歯肉出血の関連を確認した。唾液検査は、3ml のうがい薬を用い、2017 年と 2018 年には Salivary Multi Test (SMT®) (ライオン株)、2018 年には Perioscreen® (サンスター株) を用いた。SMT®は潜血、たんぱく質、アンモニアのレベルと白血球数 (WBC) の 4 つの項目を百分率で表し、3 つのランク (多、平均、少) に分類し、Perioscreen®は潜血を陽性または陰性に判断した。歯科検診の結果と唾液検査の結果を比較し、唾液スクリーニング検査の精度を評価した。統計分析は、カイ二乗検定、スピアマンの順位相関係数、および一元配置分散分析を使用した。統計分析には、JMPver.13(SAS Institute Inc., North Carolina, USA)を使用した。P 値 0.05 未満を有意であるとみなした。</p> <p>本研究の結果では、唾液中の潜血、たんぱく質、アンモニア、WBC 数がそれぞれ歯周病、歯周炎と関連しているが、特に唾液中アンモニアのレベルが歯周病と相関しており、特異度は低いものの歯周病のスクリーニングにおいて感度が高く最も正確なマーカーであることを示した (感度 83.1-83.5%、特異度 21.6-22.9%、精度 69.3-73.0%、F 値 0.779)。また、潜血においては Perioscreen®が SMT®を使用するより感度と F 値が高く、スクリーニングツールとしての使用が支持された (感度 69.5%、特異度 38.9%、精度 59.7%)。自己申告による歯肉出血の有無は、特異度は高いものの、精度は低かった (感度 11.0%、特異度 93.8%、精度 34.7%)。</p> <p>本研究は、集団健診において、歯周病および歯周炎スクリーニングにおける SMT®および Perioscreen®の有用性を初めて実証したものである。大集団における歯周病のスクリーニングのための唾液スクリーニング検査の精度を調査した結果、唾液中アンモニアが有用な唾液検査であることが示された。また、ヒトヘモグロビンに対するモノクローナル抗体によって検出された潜血 (Perioscreen®) による方法も有用な唾液検査であった。本研究により、唾液検査が歯周病のスクリーニング検査となる可能性が示唆された。</p> <p>主査、副査は一致して本論文を学位論文として価値があるものと認めた。</p>			